

大畠中だより

柳井市立大畠中学校 学校通信 No. 15

令和4年11月中期

<https://www.city-yanai.jp/site/obatake-chu/>

避難訓練を終えて～自分の身は自分で守る意識を！～

11月11日（金）、地震・火災対応の避難訓練を行いました。「安芸灘でマグニチュード5強の地震が発生」という想定で、8時25分、地震発生の放送が流れました。ちょうど朝学活が終わって1時間目の授業の準備や教室移動の時間でしたが、教室やろうかなどそれぞれがいた場所で机の下など安全な場所で頭を守り、揺れが収まるのを待ちました（シェイクアウト訓練）。その後、火災発生の非常ベルが鳴り、放送による指示で、全員がグラウンドに避難しました。



当日は、発生時刻を予告しないブラインド訓練でしたが、生徒・教職員ともに放送をよく聞き、「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」の避難の原則「おはしも」にそって、落ち着いて行動することができました。

避難完了の後、柳井地区広域柳井消防署東出張所の田中所長さんよりご指導を受け、また、署員の方々から消火器の使い方や消火の仕方についての説明を受けました。①「火事だ～」と周りに知らせる、②消火器の安全ピンを抜いてホースを火元にむける、③消火剤をまきながら火元に近づいて消化する、という消火活動に教職員と生徒が真剣に取り組みました。



＊防災に関して～大畠中では、生徒の安心安全のために「危機管理マニュアル」と「緊急時のガイドライン」を作成して運用しています。また、毎年4月に「緊急時生徒引き渡し登録者一覧」を作成し、大規模災害や緊急時にはお子さまの引き渡しをすることにしています。

緊急時のガイドライン（保護者用）		
緊急連絡 ⇨『大畠中安心メール』で連絡 ※各家庭においてもそれぞれの責任について対応を判断され、な対応を要してください。		
不審者発生時	台風接近時	大雨（雷）・雪・土砂災害
- 市内で子どもを奪った怪しい人等々の不審者発生 - 市内で不審者多数を襲った凶悪事案 - 市内での襲撃を待った不審者発生等	台風接近・暴風・高潮警報発生	大雨・土砂災害等警報発生、土砂警戒情報・記録的短時間大雨
自宅待機 ・緊急発生情報、並びに対応を連絡（J-F配信） ・安全が確保できない場合は臨時休校 ・授業実施 ・授業実施の場合は保護者の協力のもと、登校	臨時休校 ・新田連絡、並びに今後の対応連絡（J-F配信） 自宅待機 ・新田又は朝6:30対応について連絡（J-F配信） 授業実施 ・保護者による安全確保のもと、登校	臨時休校 ・新田連絡、並びに今後の対応連絡（J-F配信） 自宅待機 ・新田又は朝6:30対応について連絡（J-F配信） 授業実施 ・保護者による安全確保のもと、登校
授業実施後下校又は保護者引渡 ・事件解決の場合、教職員の下校指導 ・事件未解決の場合、学校待機 ・状況により一斉下校または保護者引渡実施（J-F配信） ・事件解決が数日間長期の場合、保護者の協力のもと下校	授業実施後下校 ・教職員の下校指導 ・気象情報を考慮し、授業を打ち切り、下校（J-F配信）	授業実施後下校又は保護者引渡 ・暴風の予兆があった場合は授業は中断を中止し、危険性がなく判断されるまで、安全な場所へ下校させる場合、教職員の下校指導の場合、学校待機 ・状況により下校または保護者引渡実施

令和4年4月8日

保護者 様

柳井市立大畠中学校
校長 横田 邦夫

緊急時引き渡し登録一覧表について（お願い）

随時、必ずご清読のこととお喜び申し上げます。
平素から、本校教育にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。
さて、緊急時に備え、別紙の緊急時引き渡し一覧表のご提出をお願いいたします。
なお、記載内容の一部を下記のように変更いたしましたので、よろしくお願いたします。
別紙の封筒に入れて、4月13日（水）までに、担任へご提出ください。

（昨年度）

※別紙記載以外の方を登録される場合には、ご記入ください。引き取りの順、免許等の提示を求めます。

番号	引き取り登録者氏名	主たる関係	連絡先（電話・住所）	備 考
①			電話： 住所： 電話：	
②				

万が一の火災や、地震・津波、不審者等の進入などに対して、生徒たちに「自分の身は自分で守る」意識をはぐくみ、的確な判断や行動ができる力をつけさせたいと考えています。ご家庭でも、避難場所の確認やいざというときの備えをお子さまと話し合ってみてください。

伝統の「剣舞」を披露～山口県総合文化祭

11月6日(日)、『淡く輝く文化の灯火 導け 我らの思いを未来へ』を大会スローガンに、「山口県中学校文化連盟 第18回総合文化祭柳井大会」がサンビーム柳井で開催されました。県内中学生の文化活動の発表の場として、県内7地区持ち回りで毎年開催されているこの大会ですが、今年も、英語弁論や暗唱、朗読やアナウンス、ピアノ演奏、吹奏楽、太鼓演奏などが披露されました。発表者の中には、各種音楽コンクールやNHK放送コンクールの入賞者もいて、全国レベルのすばらしい発表を見たり聞いたりすることができました。そんな中、柳井地区の8中学校も、演劇(上関中)やボディパーカッションと吹奏楽(平生中)など、それぞれの学校が持ち味を発揮しながら発表しました。大畠中学校も2・3年生が『剣舞』で出演し、会場の中学生や関係者から大きな拍手を受けていました。(ご指導いただきました「月性剣舞保存の会」のみなさま、ありがとうございました。)

発表終了後に行われた閉会式では、3年の山本くんと原田さんが司会を務め、緊張しながらも大役を立派に果たしていました。

また、発表の部と同時に行われた展示の部は、柳井小学校体育館で行われ、本校生徒の作品も出品し、書画や技術・家庭科の作品などが展示されました。



「輝くために」～柳井市小中学校音楽会

11月2日(火)、柳井市小中学校音楽会が、サンビーム柳井で開催されました。大畠中学校は、午後の中学校の部で、柳井中の吹奏楽部や合唱部、柳井西中の合唱部の次に、全校合唱を披露しました。歌った曲は、『輝くために』(作詞作曲:若松勲)。文化祭でも歌ったこの曲を、全員が気持ちを込めて歌いました。講評の松前良昌 元広島大学付属東雲中学校先生からは、「よくまとまっていて、お互いを信頼しながら歌っているのが伝わってきました。」とお褒めの言葉をいただきました。

サンビームの広い会場に大畠中のすてきなハーモニーが響き渡り、生徒たちは輝いていました。

